

令和7年度

上川地区の巻

事務局 東川町立東川第二小学校



大雪旭岳水源（東川町）

上川管内校長会は、22市町村の小学校48校、中学校27校、併置校3校、義務教育学校4校、計82校の校長で組織されている。今年度は16名の新会員を迎えた。4月11日に総会を開催し、活動方針や予算を決定して新役員を選出した。

I 本年度の活動方針

～新スローガン「うまくやること」～

日本の教育は、急速に変化する社会情勢の中で多くの課題に直面している。少子化や地域間の教育格差、教職員の働き方改革といった構造的な課題に加え、ICTを活用した「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現といった教育の質的向上も求められている。また、児童生徒のウェルビーイングを向上させるためには、教職員の働きやすさや心身の健康が欠かせない。こうした現状の中、学校全体で持続可能な運営体制を構築し、地域社会に根ざした教育の発展に取り組む必要がある。

上川管内校長会は、昨年、設立50周年を迎えた。これまで、上川管内の小学校、中学校、義務教育学校の教育の充実発展のため、全会員の結束及び組織一丸となった取組により、多くの成果をあげてきた。本会は、教育現場のリーダーとして、時代の変化に対応した学校運営を実現するため、「つながりの深化」「自己研鑽の充実」「持続可能な組織体制の構築」とともに、新たなスローガン「うまくやること」の実践を活動方針の柱とし、学校経営の質的向上を目指す。

新スローガン「うまくやること」は、校長に求められる重要な資質であるファシリテーション能力を、よりわかりやすく端的に表現したものである。校長が掲げる経営方針に全教職員が共感し、納得した上で、チーム学校として主体的に動き、協力して課題解決に取り組むためには、校長のファシリテーション能力が鍵を握っている。このスローガン「うまくやること」には、自校の学校経営のみならず、上川管内校長会全体

においても、会員が目標達成に向けて円滑にコミュニケーションを図り、協働を促進する役割を果たすための合言葉としての意味が込められている。

II 活動の重点

1 つながりの深化

- ① 家庭や地域から信頼される学校経営の推進と教育活動の充実
- ② 児童生徒理解の深化と、自己実現を図る生徒指導や特別支援教育の充実
- ③ 会員間の意見集約と情報共有の促進による結束力の強化
- ④ 教育条件整備に向けた関係機関との連携の強化
- ⑤ 上川教育局、地教委、道小・道中、教育関係団体との緊密な連携

2 自己研鑽の充実

- ① 新たな知を拓く研究の充実と、校長自らの研鑽
- ② 職能向上を図る研修活動の充実と、研修成果の発表・交流
- ③ 学校経営参画意識をもつ魅力的な教員の育成と、専門性の向上
- ④ 教頭や主幹教諭、ミドルリーダーの資質・能力向上と後継者の育成

3 持続可能な組織体制の構築

- ① 事務局業務の見直しと分担の明確化による運営効率の向上
- ② 会員数減少を見据えたブロック研修の班編成の柔軟な見直し
- ③ 採用年次の浅い校長が参加しやすい仕組

- ④ 教職員の働き方改革の推進と、処遇改善および福利厚生の実施
- ⑤ 教育政策や人事に関する適切な意見具申
- 4 「うまくやること」の実践
 - ① 校長自らのファシリテーション能力の向上と協働を促進する環境整備
 - ② 対話を重視した会議運営による意見集約の促進
 - ③ 学校現場全体を巻き込むリーダーシップの発揮と、学校運営の円滑化
 - ④ 教育現場における課題解決力の向上と、持続可能で質の高い学校経営の実現

Ⅲ 各部の活動方針

1 経営部

市町村校長会との連携を図り、学校経営に関する法制上の諸課題の研究を深めるとともに、学校経営の充実に資するために校長会組織の強化を図る。

- ① 組織強化に関すること
- ② 法制研究会・教育経営研究会の開催に関すること
- ③ 学校経営に関する法制上の課題把握と関係法規の研究・具体的問題の収集処理に関すること
- ④ 管内校長会役員選考業務の推進に関すること
- ⑤ 道小・道中経営部との連携に関すること

2 研修部

学校経営及び教育活動の交流を図ることを通して、豊かな人間性を育てる教育課程の編成に努めるとともに、市町村及び地区ごとの研修を一層活性化し、その交流を図りながら、成果を積み上げ集約していく。また、道小研究大会・全連小研究協議会及び道中研究大会・全日中研究協議会への積極的な参加を図り、その成果を管内教育の深化・充実に生かすように努める。

- ① 研修組織及び運営に関すること

- ② 道小研究大会・全連小研究協議会及び道中研究大会・全日中研究協議会に関すること
- ③ 管内小中学校長教育研究大会、今日的課題に関する研修会の開催
- ④ 研修資料の収集提供に関すること
- ⑤ 研究のまとめ「啐啄」の編集と発行
- ⑥ 道小・道中研修部との連携に関すること

3 広報部

広報活動を通し、各種情報を的確に提供することにより、会員の意識の高揚と組織活動の強化・充実に努める。また、市町村校長会との連携を図り、各種調査等を実施し、各学校の有効な経営に資するための資料の収集に関する業務の推進に努める。

- ① 会報の編集と発行に関すること
- ② 各種調査の企画・実施に関すること
- ③ 学校の統廃合に関すること
- ④ 道小・道中対策部・情報部との連携に関すること

Ⅳ 役員

会 長	裊田佳奈恵 (当麻中)
副 会 長	千葉 良彦 (富良野西中)
〃	佐藤 正和 (多寄小)
〃	中間 靖之 (東神楽中)
〃	越野 崇 (中富良野中)
運営委員長	小林 真弓 (北野小)
運 営 委 員	井上 隆一 (名寄南小)
事 務 局 長	豊田 央 (鷹栖小)
事務局次長	石坂 剛 (愛別小)
庶 務 理 事	成田 浩幸 (東川第二小)
会 計 理 事	島村 圭吾 (麓郷小中)
経 営 部 長	秋保 利弘 (東川小)
研 修 部 長	馬場 泰栄 (南富良野小)
広 報 部 長	桑原 久美 (上富良野小)